

令和2年度 3学年「地理総合」(シラバス)

1. 教科名・科目名・単位数・履修学年・使用する教科書・副教材等

【教科名 地理歴史】 【科目名 地理総合】 【単位数 3】 【履修学年 3年】

【使用する教科書 新詳地理B(帝国書院)、新詳高等地図(帝国書院)】

【副教材等 新詳地理Bノート(帝国書院)、新詳地理資料2020】

【担当者 我喜屋 亮】

2. 学習目標と評価基準

(1) 関心・意欲・態度

- ① 地理的事象に対する課題について、関心を強めているか。
- ② 意欲的に課題を追求し、客観的に考察しようという態度を身につけているか。
- ③ 国際社会の一員として、主体的に行動し責任を果たそうとしているか。

(2) 思考・判断・表現

- ① 地理的事象に関する課題を見だし、それらを総合的な観点から考察しているか。
- ② 国際的な社会の変化を踏まえ、その課題を客観的に判断しているか。
- ③ 考察した過程や結果を、様々な方法で適切かつ論理的に表現しているか。

(3) 資料活用 の技能

地理的事象に関する諸資料を様々な媒体を利用して収集し、有用な情報を主体的に選択・活用しているか。

(4) 知識・理解

日本及び世界各地の生活・文化の地域的特色について、基本的な事柄を理解し知識として身につけているか。

3. 年間学習計画

月	単元と項目	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	主な学習活動
4	第Ⅲ部 現代世界の地誌的考察 1章 現代世界の地域区分 1節 地域区分とは何か	1	地域区分の目的と意義を理解し、有用性に気づく。	地域区分法としての等質地域と機能地域との違いについて主題図を参照しながら考察していきます。
	2章 現代世界の諸地域 1節 地域の考察方法	1	国・地域ごとの地域区分と考察の方法について理解する。	地域区分の方法について自然、政治、経済、文化の4つの指標から考察します。
	2節 東アジア ○変化に富んだ地形と気候 1 中国の歩みと巨大な人口 2 中国の食生活と農業の変化 3 中国の工業化と巨大市場 4 中国の海外進出 5 朝鮮半島の歩みと文化 6 韓国の産業の発展と変化	7	東アジアについて、形式的な地域区分にもとづき、自然環境、中国の歴史・文化と巨大な人口、農業、工業、中国の海外進出、朝鮮半島の歴史・文化、韓国の産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	計画経済から改革開放路線への変化に伴い何がもたらされたのか、統計を活用しながら経済面・貿易面を中心に考察します。韓国の20世紀前半の苦難の歴史から急速な経済成長に至るまでの変遷について歴史的背景を踏まえながら具体的に考察します。
5	3節 東南アジア モンスーンの影響を受ける自然環境 1 東南アジアの歴史と文化・民族 2 東南アジアの農業とその変化 3 ASEANの結成と工業の発展 4 ASEANの変化と課題	5	東南アジアについて、形式的な地域区分にもとづき、自然環境、歴史と文化・民族、農業、工業、ASEANの変化と課題という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	主題図や写真を用いて東南アジアの概要について気候環境、言語、宗教を切り口に考察します。東南アジアにおける商業的農業の展開とその課題について歴史的背景を踏まえながら考察します。
6	4節 南アジア 三つに分けられる地形とモンスーンの影響を受ける気候 1 南アジアの歩みとヒンドゥー教 2 インドの農業と農村の変化 3 発展するインドの産業と変化	4	南アジアについて、形式的な地域区分にもとづき、地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの産業と生活の変化という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	インドの経済自由化や産業開発、工業化の進展と国土構造の変化についてグローバル化に伴う経済発展との関わりから主題図や統計を用いて考察します。
	5節 西アジアと中央アジア 乾燥した大地が広がる二つの地域の自然環境 1 イスラームを中心とした生活文化 2 交易を軸に発達した都市 3 豊かな資源と人々の生活	4	西アジアと中央アジアについて、乾燥帯が広がる自然環境に着目した地域区分にもとづき、自然環境、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較して考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	西アジア・北アフリカの形成過程と今日的な課題について自然環境や歴史的背景を踏まえながら考察します。西アジア・北アフリカ諸国の共通点と相違点について民族、宗教、言語を指標に考察します。
7	6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 赤道を軸に南北で対照的な二つの地域の気候と植生 1 歴史的な背景によって形成された多様な文化 2 一次産品への依存が強い産業 3 人々の生活の変化とほか地域との結びつき	5	北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、中近東文化と中南アフリカ文化という文化に着目した地域区分にもとづき、気候と植生、歴史的な背景と文化、一次産品への依存、生活の変化とほか地域との結びつきの面において、対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	サハラ砂漠以南のアフリカの特色について自然環境や文化の側面から理解を深めるとともに、その成り立ちについて歴史的背景を踏まえながら理解を深めます。経済構造の特徴とそれによりもたらされた問題点について理解を深めます。
9	7節 ヨーロッパ 高緯度でも温暖な気候と安定した大地 1 ヨーロッパの成り立ち 2 結びつくヨーロッパ 3 ヨーロッパの多様な農業と共通農業政策 4 移り変わるヨーロッパの工業 5 これからのヨーロッパ	8	ヨーロッパについて、形式的な地域区分にもとづき、自然環境、歴史、EUの結びつき、農業、工業、今後の動向という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	主題図や各種資料を用いてEU統合が進む背景について民族と宗教との関わりから考察するとともに、統合へ向けての歴史的背景について考察します。EUの東方拡大の現状と課題について考察するとともに、欧州以外の地域との関係についても貿易面を中心に考

月	単元と項目	時数	学習の目標(ねらい)及び内容	主な学習活動
10	8節 ロシア 広大な国土と多様な自然環境 1 ロシアの歴史と社会の変化 2 大きく変化したロシアの産業	5	ロシアについて、亜寒帯が広がる自然環境に着目した地域区分にもとづき、自然環境、歴史、産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	題図や写真を用いてロシアと周辺諸国の地域的多様性について地形、気候、民族を指標に考察します。ロシアの農業、鉱工業地域の分布の特徴について多面的・多角的に考察します。
11	9節 アングロアメリカ 南北と東西で異なる自然環境 1 移民国家としてのアメリカ合衆国の発展 2 アメリカ合衆国の人口と都市 3 世界の農業のかぎをにぎるアメリカ合衆国 4 進展する科学技術と産業 5 世界の中のアメリカ合衆国 6 アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダ	9	アングロアメリカについて、文化に着目した地域区分にもとづき、自然環境、アメリカ合衆国の移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界に影響のあるアメリカ合衆国、アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	写真や主題図を用いて北アメリカの自然環境の多様性とそれによって形成される農業地帯の特色について考察します。北アメリカの鉱工業地域の変化について先端技術産業の発展との関わりから考察します。
12	10節 ラテンアメリカ 南北と標高で異なる自然環境 1 ヨーロッパ社会の影響が強い文化 2 大土地所有制と農業の変化 3 鉱産資源を基盤とした工業化と生活の変化	4	ラテンアメリカについて、文化に着目した地域区分にもとづき、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	題図や写真を用いて中央・南アメリカ諸国における自然環境と歴史・文化の特徴について歴史的背景を踏まえながら考察します。
1	11節 オセアニア 一つの大陸と太平洋の島々 1 オセアニアの移民の歴史と多文化社会 2 資源を通じて強まるアジア諸国との結びつき 3 アジア諸国に輸出される農畜産物 4 物や人の移動で強まるアジアとの結びつき	4	オセアニアについて、形式的な地域区分にもとづき、一つの大陸と太平洋の島々、移民の歴史と多文化社会、強まるアジアとの結びつきという特色ある事象とほかの事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。また、日本との結びつきを考察し、地域的特色への理解を深める。	多文化社会を形成しているオーストラリアの国家としての成り立ちについて、先住民、ヨーロッパ移民、アジア系移民との関わりから考察します。オーストラリア経済における鉱産資源と観光資源の重要性について認識するとともに、その特徴について考察します。
2	3章 現代世界と日本 1節 日本が抱える地理的な諸課題 2節 日本の抱える課題の追究 1 テーマを設定する 2 課題を探究する 3 仮説を検証する 4 まとめと発表	3	現代世界において日本が抱える地理的な諸課題について、多面的・多角的に考察し、探究する活動を通して、その解決の方向性や将来像について考察する。	国家規模の地理的な諸課題を見いだすために日本の国土の特色をつかみ、そこから課題を抽出します。